

埼玉県内の社会福祉施設の労働災害発生状況

(平成30年9月末集計)

「働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」実施中

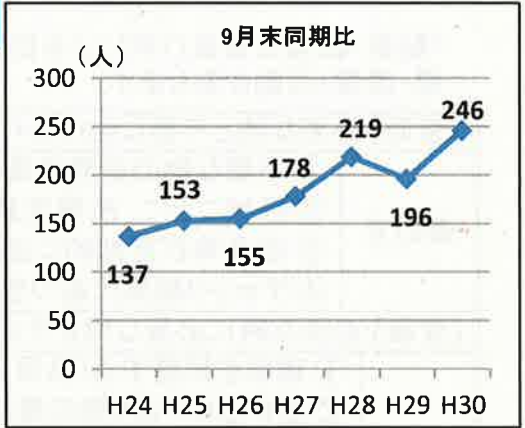
1 埼玉県内の社会福祉施設での休業4日以上
の死傷者数は、246人。

【対前年同期比 +50人、25.5%増】

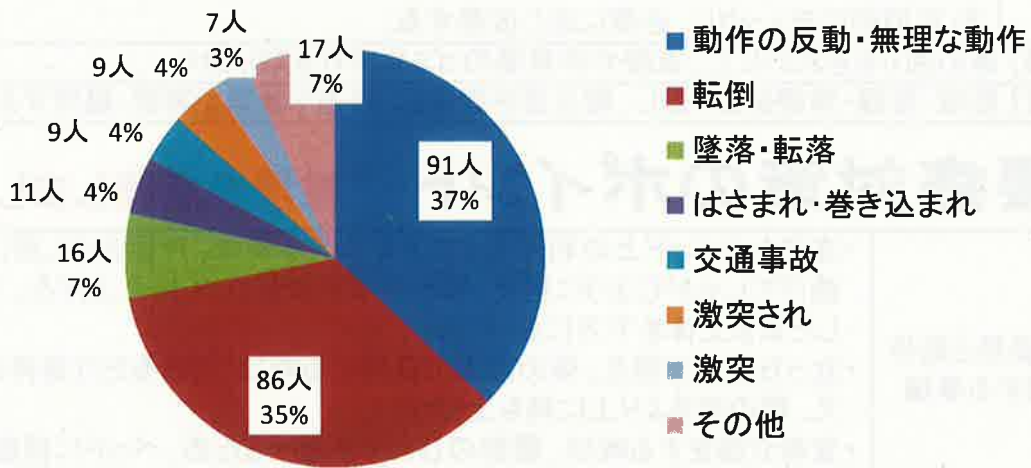
2 4S(整理・整頓・清掃・清潔)活動で転倒災害を
防ぎましょう!「STOP! 転倒災害プロジェクト」

3 腰痛予防対策を進めましょう!

4 リスクアセスメントでの施設内の危険を低減!



事故の型別 労働災害発生状況(社会福祉施設)



事故の型(種類)別では、①介護中の動作の反動・無理な動作(腰痛)、②浴室等での転倒、③施設等の階段を降りる際に踏み外し転落の順。

動作の反動・無理な動作(37%)と転倒災害(35%)の2つで3分の2以上を占めます。

転倒災害では、半数以上が骨折しており、休業日数も長くなっています。

【災害事例】

【動作の反動・無理な動作】

- ①無理な姿勢で屈み込んで介助作業を続けていたところ、体勢を戻したときに膝から腰にかけて痛みが走った。
- ②ベッドの高さを上げずに入所者の移動作業をしようとしたところ、膝に負担がかかって負傷した。



【転倒】

- ①普段は何もない場所に置いてあった箱につまずき、床に強く手を突いた。
- ②利用者宅で、電気のコードに足が引っ掛かり、転倒して胸部を強く打ってしまった。